

“着”の基本的な文法的意味と意味特徴

鄭 瓊 花

Abstract

The aspectual particle ZHE has always been one of the top topics in the grammatical research of modern Chinese. The main purpose of this paper is to discuss and explore the fundamental grammatical meaning of the particle as well as its semantic features. First, I will attempt to redefine the two aspectual properties which have been used in a misleading or ambiguous sense: the progressive and durative aspects and redefine them. Then based the redefinitions, I will analyze the grammatical meaning of ZHE and propose that the most fundamental grammatical meaning of ZHE is linear process. In addition, I will look at collocation examples of ZHE and verbs such as *buy* and *send*, and conclude that the particle ZHE has four semantic features corresponding to incompleteness, continuity, dual of dynamic and static, and homogeneity.

キーワード…… “着” 意味特徴 均質性 持続性

1. はじめに

アスペクト助詞“着”の研究を行うためには、まず“着”の基本的な文法的意味を明らかにする必要があるが、“着”の基本的な文法的意味に関する見方は一致していない。特に、次のような例文における“着”が進行を表すかどうかという問題については議論がある。

- (1) 大鱼自顾自喝着啤酒，并不看他一眼。 《白色恋人》
(大鱼さんは一人でビールを飲んでおり、彼には目もくれなかった。)
- (2) 大力说话的时候，小月抽动着肩膀，无声地抽泣。 《白色恋人》
(大力さんが話している時、月さんは肩をびくつかせて、声を立てずにすすり泣いている。)
- (3) 甲：小明，外边下没下雨呀？ (朱繼征 2000: 55)
(明ちゃん、外は雨が降ってる？)
乙：下着呢。
(降ってるよ。)

例文(1)、(2)、(3)では、動詞の“喝”(飲む)、“抽动”(びくつかせる)、“下”(降る)と“着”が共起して、動作主の動作行為の進行を表すとされる。では、これらの文において“着”はそ

“着”の基本的な文法的意味と意味特徴（鄭瓊花）

れぞれ一体どのような役割を果たしているのでしょうか？進行の意味は単純に「動詞＋着」の形式によって表されるのでしょうか。“着”のどのような基本的な文法的意味を持っているのだろうか。

本研究は主にこれらの問題を考察し、“着”の基本的な文法的意味を明らかにした上で、“着”の意味特徴を解明する。

2. 先行研究

これまでの研究では、“着”の本質的な文法的意味をめぐり、さまざまな観点から論じられてきた。それぞれの研究者により“着”が進行と持続を表せるか否かという議論をめぐり意見が異なる。こうした議論は下記の三つの立場に大きく収斂される。

2.1 “着”が進行を表すという立場を支持する研究

王力(1943)は“着”が進行相を表すことができると主張している。

“着”表示“进行貌”，并认为“进行貌”分两种，一种是一个独立的动作正在进行，例：我正在写着字；另一种表示一种动作在进行时恰与另一动作相遇，例：他进来的时候，我在写着字。（“着”は進行相を表し、また進行相は二種類に分かれる。一つはある独立した動作が進行していることを表す。例えば“我正在写着字。”（私は字を書いている。）である。もう一つはまさにある動作が進行している際に別の動作も進行していることを表す。例えば“他进来的时候，我在写着字。”（彼が来たとき、私は字を書いているところだった。）である。

木村英樹(1986)は“着”を二分し、動作後の状態持続を表すものを“着 d”、進行中の動作を表すものを“着 p”とし、これら二種類の“着”は異なる文法的意味を持つと説明している。そして、それはその否定文の違いからも論証できるとし、状態持続を表す“着 d”はアスペクト助詞ではなく、結果補語に近い文法的意味を持つと主張している。

朱継征(2000)によれば、「進行相」は動作および作用が正に実現されているプロセスを指す。言い換えれば、動作が進行している段階を表す。そして“(正) 在～”、“～着”、“～(着) 呢”などがこの「進行相」を表す文法形式とされる。

2.2 “着”が進行を表さなく、持続を表すという立場からの研究

陈刚(1980)は「试论“着”的用法及其与英语式的比较」という論文で次のように述べている。

汉语能表示进行意义，但是不用“着”来表示，这说明“着”不是表示进行意义的。有

些句子里的“着”都不是非用不可的。把它们去掉，进行意义并未消失。因为句子里的“在”和“呢”已经把进行意义表示出来了。(中国語は“着”を使わなくても進行の意味が表すことができる。このことは“着”が進行義を表さないことを説明している。一部の文に見られる“着”は必須要素ではなく、これを削除しても進行義が消えることはない。なぜなら“在”と“呢”が既に進行の意味を表しているからである。)

費春元(1992)は中国語には進行相は存在しておらず、“着”が進行を表しているように見えるのは、その文脈が「現在」という参照時間を提供しているためであると指摘している。

また、钱乃荣(2000)は“着”が動詞の後ろに付き、イベントの持続状態を表すが、進行は表さないと結論付けている。さらに、“着”は進行相を表す“正在”、“正”、“在”、“呢”と共にできるが、進行相の意味は“着”ではなく、“正在”、“正”、“在”、“呢”によって担われていると指摘している。

2.3 “着”が動作の持続と状態の持続を表すという立場からの研究

刘月华(1983)は“着”の文法的意味を五つにまとめている。1) 動作がずっと持続する。2) 動作が行われた後、物体がある場所に置かれている、もしくは状態がそこに残存している。3) 持続的動作を表すが、実際にはこの動作も一種の状態としてみなすことができる。4) 一部の非動作動詞の後ろに“着”を付けることで一種の状態を表す。5) 一部の形容詞の後に“着”を付けて状態の持続を表す。

郭锐(1993)は“着”の文法的意味を三つに分けている。

着₁表示动态动作的持续，着₂表示动词词义本身指明的静态状态的固定，着₃表示动作结束后留下的状态的固定。动态的持续包括两种情况：一是指从开始到结束的过程极短的行为动作反复进行，如“他大口大口地吃着”、“他不停地唱着”；一是指处于行为动作从开始到结束的过程中，如“你在这儿待着”。状态的持续也包括两种情况：一是指在某种行为动作下，事物始终呈现某种状态，一是指人或者动物一直保持由某种行为动作所造成的状态。“着₁”は動態動作の持続を表す。“着₂”は動詞自体が表す静態が安定状態にあることを示す。“着₃”は動作が終わった後に残留する状態が安定していることを表す。動態の持続も二つに分かれる。一つは、“他大口大口地吃着。”(彼は大きな口を開けて食べている。)、 “他不停地唱着。”(彼はずっと歌っている。)のように、動作の開始から終了までのプロセスにおいて、きわめて短い行為動作が反復して行われるものである。もう一つは、“你在这儿待着。”(ここで待ってください。)のように、ある行為動作が始点から終点までのプロセスにおいて動作が持続するもので、この状態の持続は二種類に分かれる。第一種はある動作作用のもとで、事物がある状態を呈しているというものである。第二種は人や動物が、ある動作作用

“着”の基本的な文法的意味と意味特徴（鄭瓊花）

によってもたらされた状態をずっと保持するというものである。）

陆俭明(1999)は、“着”の文法的意味は動作と状態の持続を表し、動作の持続は動的な持続であり、状態の持続は静的な持続であると主張している。

以上の先行研究から明らかなように、“着”の文法的意味に関する立場の違いは大きく、さまざまな分析が提示されている。これらを要約すれば、“着”は進行を表すという立場、持続を表すという立場、進行と持続の両方を表すという立場に分かれており、統一的な説明はなされてきてはいない。また、進行と持続に関して統一された定義もない。次節ではこれらの問題点を検証し、“着”の基本的な文法的意味と意味特徴を明らかにする。

3. 分析

“着”の基本的な文法的意味を明らかにするために、まず 3.1 において進行と持続を定義した上で、“着”と進行と持続の関係を分析する。続けて 3.2 では、“着”の基本的な文法的意味を明らかにし、3.3 以降でその意味特徴を考察する。

3.1 進行と持続の定義について

これまでの研究では、進行と持続の統一的定義はない。张黎(1996)は、進行は外力の作用によって動作がある時点において変化していることを指し、持続は外力の作用によって動作がある時点から他の時点へ移動することを指すと主張している。その上で、「進行相」（“進行貌”）は動作が始まってから終わるまでの全体のプロセスを指すと説明している。陈刚(1980)は、進行はまさに進行中の状況を指すものであり、一瞬で終わるものでもなければ、一貫して継続するものでもないと説明している。さらに、盛文淵・吉本啓・佐藤滋(2006)は「進行」は動作や行為が動的に持続することを表すため、「持続」の下位範疇に含まれると指摘している。筆者はこれらの先行研究の成果を踏まえ、進行と持続を以下のように定義する。

(4) 進行：時間軸上のある時点において、出来事が正に発生していること。

持続：幅を持ったある状態が時間軸上に保持されること。

進行と持続は二つのレベルの概念であると思われる。進行はある時点において、ある出来事が正に起きていることを表すことから、そのプロファイルされた出来事のアスペクト的輪郭は、時間軸に対し質的な際立ちを持っている。それに対して、持続がプロファイルする出来事は、ある状態が保持されることであり、そのアスペクト的輪郭は時間軸に対し質的に高い際立ちを持たないように思われる。では、“着”は進行と持続とどのように関係しているのだろうか。

3.2 “着”の基本的な文法的意味

前節 3.1 では進行および持続の定義を示した。本節では“着”の基本的な文法的意味について論じる。

朱継征(2000)によれば、“着”は、三つの異なるアスペクトに出現し、残存相¹⁾における“着”、持続相²⁾における示す“着”および進行相³⁾における“着”に分類される主張している⁴⁾。本節では朱継征(2000)が述べるこれら三つの側面をもとに、“着”および進行、ならびに持続との関係性について考察することで、“着”の基本的な文法的意味を明らかにしていく。

まず

① 残存相における“着”

次の例文を見てみよう。⁵⁾

(5) 办公室墙上挂着一幅毛主席的画像。

(事務所の壁の上に、毛主席の絵が掛けてある。)

(6) 箱子里装着一套二十四件的茶具。

(箱の中に1式24点の茶器が入っている。)

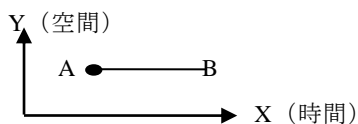
(7) 天上飞着一只老鹰。

(空を鷹が飛んでいる。)

荒川清秀(1985)は“着”と動詞との結合度の緊密さによって、動作動詞を a 類から e 類の五つに分類している。例文(5)の“挂”(掛ける)および(6)の“装”(置く)のような動詞は“着”と結合度が最も緊密である。“着”はもともと「附着」の意味を表す動詞であり、アスペクト動詞になっても、“挂”(掛ける)、“装”(置く)のような動詞と共起し、「附着」の意味を表すことができる。

宋玉柱(1988)によれば、例文(5)、(6)、(7)は存在文⁶⁾である。例文(5)と(6)は静態存在文⁷⁾であり、例文(7)は動態存在文⁸⁾である。朱継征(2000)は例文(5)、(6)における“着”を残存相における“着”と定義している。例文(5)では、場所を表す「事務所」において、誰かが行った動作“挂”(掛ける)によって、「毛主席の絵」が「掛かった」状態で存在することが表されている。例文(6)は例文(5)と同じように、場所を表す「箱の中」に、誰かが行った動作“装”(入れる)の結果、「茶器」が存在することが表されている。例文(5)は図(1)のように図式化できる。⁹⁾

図 (1)：例文(5)の図式



X軸は時間を表し、Y軸はアスペクトの質的な状態／変化を表す。点Aは時間軸に誰かが「毛主席の画像」を掛け終える時点を表す。点Aに「掛ける」という動作が終わって、その結果が、線Bのような状態として残存する。要するに、点Aの右の線Bは“挂+着”に対応し、「掛けてある」という静的な状態を表す。即ち、例文(5)における“着”は「掛けてある」という状態が時間軸に存在している「線状過程」を表す。

例文(7)は宋玉柱(1988)によれば動態存在文として定義されている。これは例文(5)、(6)とは異なり、存在物が動的状態で出現している。例文(7)の動詞は「飛ぶ」という動作動詞である。「鷹」は「空」を「飛んでいる」という動的な状態で存在している。飛んでいる状態は変わっていないため、その飛んでいる動的状態も例文(5)、(6)が表す静的状態と同じように線で表される。そのため、このような文における“着”は動的な「線状過程」を表す。

上述の分析から見れば、残存相における“着”は「線状過程」を表すと考えられる。

② 持続相における“着”

次は持続相における“着”を考察する。次の例文を見てみよう。

- (8) 天放晴了，袁二叔扛着犁去田间耕作，看见几只狗在树下“旺旺”地叫。 (ccl)

(天気は晴れていて、袁二叔は犁を担いで田畑を耕しに行くと、何匹かの犬が木の下でワンワンと吠えているのが見えた。)

- (9) 一个高大的黑人在她身旁站着，一支乌黑的枪口对着她的头。 《北京人在纽约》

(彼女の側に、背の高い黒人が立っていて、真っ黒な銃口が彼女の頭に当たっていた。)

例文(8)では、動詞の“扛”(担ぐ)が“着”と共に起しており、動作主の“袁二叔”が意志を持って“扛”(担ぐ)という姿勢を保ち、動作作用の被動者である「犁」が静止状態を保持している状況が表されている。例文(9)では、“站”(立つ)という動詞は姿勢動詞であり、“着”と共に起した場合、動作主は立った後その姿勢を保ち続けることを表す。もし動作主の“黒人”の体を再帰的な行為の被動者と見なすならば、例文(9)の場合も例文(8)と同じく、動作主による力によって動作作用の被動者である体が一種の静止状態を保持していることを表すと考えられる。朱継征(2000)によれば、このような文における“着”は「持続相」を表す文法形式とされる。動作主の作用により被動者が保持している静止状態を図式化すると、幅のある時間軸を持つ「線状過

程」となる。

③ 進行相における“着”

進行相における“着”の文法的意味に関しては多くの議論がある。次の例文を見てみよう。

(10) 甲：电影都演完了吧？ (朱繼征 2000: 56)

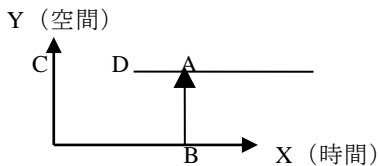
(映画はもう終わった?)

乙：还演着呢，现在去，还能看上个尾巴。

(まだやっているよ。今行けば最後のところを見られるよ。)

例文(10)は会話文である。例文(10)では、甲は今映画が終わったかどうかを質問し、乙は映画がまた終わっておらず、まだ上映中であると答えている。例文(10)の乙では“着”と動詞の“演”(放映する)が共起し、映画は上映中であることを表しているが、この“着”の文法的意味は何であろうか。例文(10)の乙における“着”文を図式化すると図(2)のようになる。

図(2)：例文(10)の図式



図(2)も図(1)と同様、X軸は時間を表し、Y軸はアスペクトの質的な状態／変化を表す。発話時点はBで、映画が上映されている場所をCで示す。Dは映画の上映が始まる時点で、線は映画が上映されている状態を示す。Aは、発話時点Bに対応する、映画上演中の一点を表す。言い換えれば、B、Cを視点から観察すれば、Aは出来事が正に起きていることを表すと考えられる。

例文(10)では、まずその会話から具体的な時間(発話時点)およびアスペクトの質的形狀(映画の上映)が捉えられる。映画が上映されるのは一瞬ではなく、時間軸上に幅を持つ出来事として持続している。図(2)と例文(10)を対照すれば、“着”と動詞の“演”(放映する)と共起した形式は、Dより右側の線のみを表すことができると考えられる。つまりここでの“着”は持続している「線状過程」の部分のみを示している。例文(10)の乙は、進行の意味を表すのは“着”だけではなく、文脈が発話時点という時間とイベントが発生する空間を提供するからである。

次に、会話文だけではなく、地の文からの例文も考察する。

“着”の基本的な文法的意味と意味特徴（鄭瓊花）

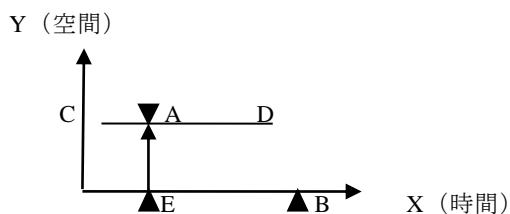
(11) 上午表姐来我家的时候我正吃着早饭。 (ccl)

(午前中いところが家に来た時、私は朝ごはんを食べているところだった。)

会話文における発話時点を時点解釈の基点とする例文(10)とは異なり、例文(11)には明確な時間の基点である「午前中いところが家に来た時」という表現が与えられている。

例文(11)における“着”の例は図(3)のように図式化できる。「午前中いところが家に来た時」という参照時間をEとして示す。Bは登場人物「私」の発話時点を示す。場所の「家」をCで表す。Aはその時間と空間に対応するイベントの状態である。「ご飯を食べる」行為が持続した状態を線Dとして示す。

図(3)：例文(11)の図式



例文(11)は例文(10)と同じように進行義を表している。例(11)には、具体的な参照時点とイベントの発生場所のほか、“正”（ちょうど）という「ある時点で動作が今現在行われている」ことを表す時間副詞もある。これは「食べる」という動作がEという時点で行われていることを表す。“着”は“吃”と共起し、Dの線状過程を表す。

だが一方の例文(12)を見てみよう。この文では、“着”を省略しても動詞の進行義は問題なく表される。このことから進行義は“着”によって与えられているわけではないと考えられる。

(12) 上午表姐来我家的时候我正(在)吃早饭。

(午前中いところが家に来た時、私はちょうど朝ごはんを食べているところだった。)

以上の分析から、“着”が表す基本的な文法的意味は進行義ではなく、「線状過程」であることが分かった。動的「線状過程」にしても、静的「線状過程」にしても、“着”は動詞と共に動作もしくは状態の持続を示す「線状過程」を表す。例文(9)、(10)、(11)、(12)のような文が進行の意味を表すのは文自体が時間と空間の枠を提供するからであると考えられる。

3.3 “着”の意味特徴

前節では、“着”の基本的な文法的意味は「線状過程」であることを確認した。しかし、次に

挙げる例文(13a)のように、「線状過程」にある状態を表す文で“着”を使うときわめて不自然になる場合がある。これは、“着”は基本的に「線状過程」を表すものの、その「線状過程」が持つ何らかの意味特徴によって意味的齟齬が生じていると考えることができる。このことから、本節では「線状過程」が持つ意味特徴、および「線状過程」の解釈に影響を与える“着”自身の意味特徴について考察する。(例文中のアスタリスクマーク*は文が非文であることを示す。)

(13) a.*我在那儿一声不吭地站着很久。

b. 我在那儿一声不吭地站了很久。

(私はある所で何も言わずに長い時間立っていた。)

“着”の意味特徴に関して、戴耀晶(1991)は“着”が不完結性、持続性、動態/静態の二重性という三つの特性を持つことを指摘している。本章では戴耀晶によるこの指摘を手がかりに、“着”の意味特徴を明らかにする。

3.3.1 不完結性

戴耀晶(1991)によれば、不完結性は完結性と相対する概念である。完結性とは、対象となる文が、それが指示するイベント全体の性質を表すということであり、分析前のイベントについて言語使用者による外部からの観察を表す¹⁰⁾。不完結性とは、対象となる文が、イベントの局部的性質のみを表すということであり、分析後のイベントに対して言語使用者による内部からの観察を表す。“着”の不完結性は、進行もしくは持続中のイベントの開時点と終点が明示されているかどうかではっきりと分かる。以下の例文を見てみよう。

(14) 几杯酒过后，宋庆龄脸色发红。她无限深情地注视着身边自己的这些同胞姐妹们。 (ccl)

(何杯か飲んだ後、宋慶齡の顔は赤くなった。彼女は限りない愛情をこめてまわりの同胞の姉妹たちを見つめている。)

例文(14)では、“着”は“注视”(見つめる)と共起し、話し手が「見つめている」行為の持続部分に関心を持ち、イベントの開始点と終点には無関心である。

また“着”文では、(15)のように、“着”が時間量や動作量を表す語句と共起できず、これも“着”の「不完結性」を示す証拠となる。

(15) a.*犯人掉进了河里，挣扎着十来分钟，被警察救起来了。

b. 犯人掉进了河里，挣扎了十来分钟，被警察救起来了。 (ccl)

(犯人は川に落ちて、十分間ほどもがいた後に、警察に救われた。)

“着”の基本的な文法的意味と意味特徴（鄭瓊花）

(16) a.*整个上午都在写论文，可我就写着五百字。

b. 整个上午都在写论文，可我就写了五百字。

(午前中ずっと論文を書いているけど、五百字くらいの文字を書いただけだ。)

(17) a.*办护照跑着五次派出所，现在的政府的办事效率真是让人不满意。

b. 办护照跑了五次派出所，现在的政府的办事效率真让人不满意。

(パスポートの手続きのためにもう五回も警察署へ行った。今の政府機関の仕事の効率には不満を抱いている。)

例文(15)、(16)、(17)の“十来分钟”(十分間ぐらい)、“五百(五百)”、“五次”(五回)のような時間量・動作量表現は、その動作が叙述するイベント全体の時間幅を定義する。例文(15a)、(16a)、(17a)では、時間量・動作量表現が“着”と共起すると極めて不自然になるが、“着”を完了を表す“了”に変えれば自然になる。これは“着”が持つ不完結性という意味特徴の影響による。また、“着”が結果性を表示する動補式に出現できないことも“着”が不完結性を示すことの証拠となる。例えば、

(18) a.*在电话里，宋子文听懂着杜月笙的弦外之音，是为缴纳“保险费”的事。

b. 在电话里，宋子文听懂了杜月笙的弦外之音，是为缴纳“保险费”的事。 (ccl)

(電話の中で宋子文は杜月笙の話の意味が分かった。「保険料」の支払いの件だったのだ。)

例文(18)では、“听懂”(聞いて分かる。)のような「動詞+結果補語」の構造は、動作の結果を表し、動作が完結した意味が含意されている。そのため、不完結性を示す“着”を付加すると不自然になる。

また、“着”の不完結性は“着”を用いた文が独立文として成立する条件にも影響を与えている。次の例文を見てみよう。

(19) a.*他们开着会。

(彼らは会議を開いている。)

b. 他们开着会，外面下起雪来了。

(彼らが会議を開いていると、雪が降り出した。)

c. 他们正开着会呢。

(彼たちは会議を開いているところだ。)

(20) a.*他吃着晚饭。

(彼は夕飯を食べているところだ。)

- b. 他狼吞虎咽地吃着晚饭。

(彼はガツガツと夕飯を食べている。)

- (21) a.*他养着狗。

(彼は犬を飼っている)

- b. 他养着五十只狗。

(彼は犬を 50 匹飼っている。)

- (22) a.*一大群人唱着。

(大勢の人が歌っている。)

- b. 一大群人吃着，跳着，拥挤着，叫嚷着。

(大勢の人が食べたり、踊ったり、押し合ったり、叫んだりしている。)

贺阳(1994) は文とフレーズの性質を分析し、その違いについて以下の見解を提出している。

句子必须能够作为言语交际的基本单位使用，必须可以独立担负交际功能，因此它必须具有表述性，即必须能够同特定的现实情景发生联系，只有当一个语言表达式具备了表述性后，它才有资格成为句子。(文は必ず言語コミュニケーションの基本単位として使うことができ、また、それ自体でコミュニケーション機能を担うことができるなければならない。そのため、文は情報伝達性を備えていなければならない。つまり、特定の現実場面の成立と関連していなければならないのである。発話が情報伝達性を備えていなければ、文になることはできない。)

例文(19a)、(20a)、(21a)、(22a)は独立文になれないが、(19b)、(20b)、(21b)、(22b)のように、時間副詞、語気詞、連体修飾語、数量詞といった他要素を加えれば、“着”文は独立文として成立できる。なぜなら、“着”はイベント全体と関連しているのではなく、持続的プロセスというイベント内の一局面にのみ関連しているためである。そのため“着”はイベント全体を表現する情報伝達性は持たない。しかし時間副詞、語気助詞、連体修飾語、数量詞を加えることにより、文としての情報伝達性を備えた独立文として成立する、と説明することができる。この独立文が持つ自立性の分析も、“着”が不完結性という意味特徴を持つという主張を裏付けている。

3.3.2 持続性

戴耀晶(1991)によれば、持続性とはイベントの過程が連続することである¹¹⁾。“着”が表す過程は絶え間なく連続するプロセスであるため、持続性というアスペクト特徴を持つと言える。

“着”の基本的な文法的意味と意味特徴（鄭瓊花）

また戴耀晶(1991)は“着”の持続性を瞬間動詞と“着”の共起関係から説明した。瞬間動詞は非持続性というアスペクト特徴を持ち、時間軸上の点として表される。一方“着”は上述した通り、時間軸上の「線状過程」のみを表す。

例文(23)を見てみよう。

- (23) a.*广州来的列车正到着上海站。 (戴耀晶 1991: 97)
(広州から来た列車がちょうど上海駅に到着している。)

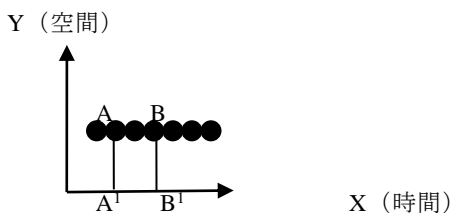
例文(23)の動詞“到”(到着する)は瞬間的な結果の成立を示す到達動詞であり、列車が到着している瞬間の状況を表す。そのため持続性を持つ“着”は“到”(到着する)の瞬間性と矛盾するためこれとは共起できない。

だが例文(24)、(25)のように、動詞が一瞬の動作を表すものでも複数回反復される場合には“着”と共起できる。(24)のように動作主が瞬間的行為を反復して行う場合、もしくは(25)のように複数の主体または動作主が、それぞれ瞬間的な事象を発生させ、それらが時間的に連続発生する場合には、ひとつの連続した持続的プロセス動作の解釈が成立するため、として説明できる。

- (24) 楼上的小朋友不停地敲着地板。 (ccl)
(上に住んでいる子供はずっと床を叩きつけている。)
- (25) 手榴弹一颗一颗地爆炸着。 (戴耀晶 1991: 10)
(手榴弾が一発また一発と爆発している。)

図(4)は例文(24)の“敲”(叩く)という瞬間的動作が反復されて、持続的プロセスの解釈が成立することを図式化したものである。

図(4)：例文(24)の図式



図(4)では、 A^1 と B^1 は時間軸上の二つの時点を表す。AとBは“敲”(叩く)という動作が連続して行われる始点と終点を表し、このそれがそれぞれ A^1 、 B^1 の二つの時点に対応している“敲”(叩く)の動作を表す。そしてこの瞬間動作がAとBの間を反復して行われることで持続的なプ

ロセスとして成立する。

例文(25)も、例文(24)と同様、最初の爆発から違う手榴弾の爆発が複数回後続するため、持続的プロセスになるので“爆炸着”のように“着”が違和感なく共起する。

3.3.3 動静の二重性

「線状過程」を基本的な文法的意味とする“着”は、例文(26)、(27)のように、“唱”(歌う)のような動的な行為動詞と“挂”(掛ける)のような静的結果を生む動詞の双方と共起できる。

(26) 他在 KTV 一首接着一首地唱着情歌，来发泄他失恋后的抑郁。 (ccl)

(彼はカラオケで一曲また一曲とラブソングを歌って、失恋の悩みをぶちまけている。)

(27) 办公室墙上挂着一幅毛主席的画像。 (例文(5)の再掲)

(事務所の壁の上に、毛主席の画像が掛けてある。)

また単独の動詞で動態と静態の両方を表すもので、“着”と共起する動詞例も数多く存在する。

(28) 关关在镜子前小心翼翼地穿着刚买回来的新皮草，生怕弄坏了。

(関関は鏡の前で慎重に買ってきたばかりの革のコートを傷めないように着ている。)

(29) 关关身上穿着刚买回来的新皮草，心里美滋滋的。

(関関は買ってきたばかりの革のコートを身に着けている。)

例文(28)、(29)の動詞“穿”はともに“着”と共起するが、例文(28)では動作の持続(着る動作を行っている)を表し、例文(29)では状態の持続(着ている状態である)を表している。つまり前者では、動作主が鏡の前で革のコートを慎重に着る動作を行っているプロセスを描写しているのに対して、後者では、動作主が革のコートを身に着けている状態にあることを描写している。

3.3.4 均質性

“着”の意味特徴は以上の非完結性、持続性、動静二重性のほかに、もう一つ重要な意味特徴を持つと考えられる。それは均質性である。均質性とは、あるイベントのプロセスにおいて質的なむらがなく、同一の性質を均等に帯びていることを言う。例文(30)を見てみよう。

(30) a. 我还吃着饭呢，你不要说那么恶心的话题。

(私はまだご飯を食べているんだ。そんな気持ち悪い話はやめてくれ。)

b. 我还在吃饭呢，你不要说那么恶心的话题。

(私はまだご飯を食べているんだ。そんな気持ち悪い話はやめてくれ。)

“着”の基本的な文法的意味と意味特徴（鄭瓊花）

(31) a.*他还买着东西，你们等等他。

b. 他还在买东西，你们等等他。

(彼はまだ買い物をしているから、少し待って。)

(32) a.*他在邮局寄着包裹，大概需要十分钟。

b. 他在邮局寄包裹，大概需要十分钟。

(彼は今郵便局で小包を送る手続きをしていて、大体十分くらいかかります。)

例文(30)の“吃饭”(ご飯を食べる)は“着”と共に起できるが、例文(31)の“买东西”(買い物をする)および(32)の“寄包裹”(小包を送る)は共に起できない。これは“着”の均質性が動詞の選択制約を課しているためと考えられる。“吃饭”(ご飯を食べる)という行為は均質的で単純な動作の連続体として考えられるが、“买东西”(買い物をする)と“寄包裹”(小包を郵送する)のプロセスは、具体的に質の異なるさまざま局面から構成されると考えられる。例えば、買い物というイベントは、商品を選び、値切り、支払いをするといった具体性を持つ異なる局面から構成される。小包を郵送するプロセスも、メッセージを書き、支払いを行うなどの具体的な異なる局面から構成されており、このことが“着”との共起制約につながっている。

4. まとめ

本研究は“着”の基本的な文法的意味と意味特徴をめぐって次の三点を明らかにした。第一に、これまでではっきり定義されてこなかった「進行」と「持続」の区別を明確化した。第二に、“着”の基本的な文法的意味は「線状過程」であることを論じた。第三に、“着”の意味特徴は、非完結性、持続性、動静の二重性、均質性を持っていることであることを指摘した。

<注>

- 1) 残存相とは動作によってある場所に存在者/物が残存するプロセスを指す。(朱繼征 2000: 23)
- 2) 持続相とは動作・作用が終了した後、動作主の姿勢あるいは動作の被動者の静止状態が持続するプロセスを指す。(朱繼征 2000: 23)
- 3) 進行相とは動作や作用が正に実行・展開しているプロセスを指す。(朱繼征 2000: 22)
- 4) (朱繼征 2000:25)の図を参考にした。
- 5) 出典を表記していない例文は作例である。
- 6) 存在文は、あるところにある人や事物がある状態で存在することを表す文である。(宋玉柱 1988: 86)
- 7) 静態存在文は動作行為の持続を表さず、人や物が存在する状態のみを表す。(宋玉柱 1988: 89)
- 8) 動態存在文は動作行為を表すだけでなく、動作行為の持続も表す。(宋玉柱 1988: 86)
- 9) 本稿の全ての図は筆者が作成したものである。
- 10) 非完整性指的是句子表达事件局部构成上性质，它反映了语言使用者对已作分解的事件所进行的内部观察。(戴耀晶 1991:94)
- 11) 所谓持续性反映的是事件过程的连续不断。(戴耀晶 1991:97)

<引用文献>

- 荒川清秀(1985). 「“着”と動詞-の類」, 『中国語』7月号 No.306,30-33頁。
- 陈刚(1980). 〈试论的用法极其英语进行式的比较〉, 《中国语文》第1期, 21-27頁。
- 戴耀晶(1991). 〈现代汉语表示持续体的“着”的语义分析〉, 《语言教学与研究》第2期, 92-10頁。
- 费春元(1992). 〈说“着”〉, 《语文研究》第2期, 18-28頁。
- 郭锐(1993). 〈汉语动词的过程结构〉, 《中国语文》6期, 410-419頁。
- 贺阳(1994). 〈汉语完句成分试探〉, 《语言教学与研究》4期, 26-38頁。
- 盛文淵、吉本啓、佐藤滋(2006). 「中国語におけるテンスの解釈-アスペクトとテンスの相関性から」, 言語処理学会第12回年次大会発表論文集, 608-611頁。
- 木村英樹(1986). 「“着”と“在”の否定」, 『中国語』11月号 No.323, 21頁。
- 陆俭明(1999). 〈“着(-zhe)”字补议〉, 《中国语文》第5期, 331-336頁。
- 刘月华等(1983). 《实用现代汉语语法》, 北京: 外语教学与研究出版社。
- 王学群(2007). 『中国語の“V着”に関する研究』, 東京: 白帝社。
- 钱乃荣(2000). 〈体助词“着”不表示“进行”意义〉, 《汉语学习》第4期, 1-6頁。
- 宋玉柱(1988). 〈略谈“假存在句”〉, 《天津师大学报》第6期, 86-89頁。
- 朱繼征(2000). 『中国語の動相』, 東京: 白帝社。
- 王力(1943). 《中国现代语法》, 北京: 商务印书馆。
- 张黎(1996). 〈“着”的语义分布及其语法意义〉, 《语文研究》第1期, 6-12頁。

<例文出典>

- 《白马之恋》, 赵凝著, 上海文艺出版社, 2005年出版。
- 《北京人在纽约》(修订版), 曹桂林著, 朝华出版社, 2003年出版。
- 《雷雨》, 曹禺著, 人民文学出版社, 1994年出版。
- ccl: 北京大学汉语语言学研究中心ccl语料库。

主指導教員(朱繼征教授)、副指導教員(大竹芳夫教授・山田陽子准教授)